

平成25年10月4日

各位

上場会社名 DIC株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 中西 義之
(コード番号 4631)
問い合わせ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 江頭 淳
(TEL 03-6733-3033)

(追加) 「当社保有の絵画の譲渡に伴う特別利益の計上及び業績予想の修正について」
の一部追加について

当社が平成25年10月4日に発表しました「当社保有の絵画の譲渡に伴う特別利益の計上及び業績予想の修正について」の記載内容について一部追加がありますので下記の通りお知らせ致します。

なお、追加箇所には下線を付しております。

記

(追加前)

6. (3) バーネット・ニューマンとアンナの光について

DIC川村記念美術館の「ニューマン・ルーム」

バーネット・ニューマン 《アンナの光》 1968年

(追加後)

6. (3) バーネット・ニューマンとアンナの光について

DIC川村記念美術館の「ニューマン・ルーム」

© 2013 Barnett Newman Foundation/ARS, New York/JASPAR, Tokyo

B0341

バーネット・ニューマン 《アンナの光》 1968年

© 2013 Barnett Newman Foundation/ARS, New York/JASPAR, Tokyo

B0341

尚、修正後の内容については、下記をご参照ください。

以上

平成25年10月4日

各位

上場会社名 DIC株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 中西 義之
(コード番号 4631)
問い合わせ先責任者 コーポレートコミュニケーション部長 江頭 淳
(TEL 03-6733-3033)

当社保有の絵画の譲渡に伴う特別利益の計上及び業績予想の修正について

当社はこのたび平成25年10月4日をもって、当社の運営するDIC川村記念美術館（千葉県佐倉市）収蔵のバーネット・ニューマン作「アンナの光」の譲渡手続きを完了致しました。

つきましては、これに伴う特別利益が発生しますので、以下のとおりお知らせ致します。

1. 譲渡の理由

当社の運営するDIC川村記念美術館では、1990年5月の開館以来、バーネット・ニューマン作「アンナの光」を展示してきました。同美術館の入場者は開館以来210万人に達し、すでに多くの日本の美術ファンの方々にご鑑賞いただきましたが、このたび、海外の企業からアプローチがあり、同作品購入の意向が示されました。

同企業との機密保持契約により、同企業名の公表は差し控えさせていただきますが、当社では同企業のこれまでの業界内における取引実績に加え、同企業への面談や第三者による検証に基づき、同企業が反社会的な活動や勢力とは無縁の健全な事業活動を行っており、取引後も同作品が適切に維持・管理されると判断しました。

当社では、経営ビジョン「Color & Comfort by Chemistry（化学で彩りと快適を提案する）」の実現に向けた経営を推進するにあたって、財務体質の強化を図りつつ、今後の持続的成長のための合理化や成長分野への投資を行っていくことが重要課題であると認識しています。上記のような状況のなか、同作品の譲渡により得られる資金を活用し、積極的かつ迅速にこのような取組みを進めていくべきと判断しました。

このようなことから、同作品を同企業に譲渡することとした次第です。

なお、当社は、同作品が一般公開される予定であることを、譲渡先である海外企業より確認しております。

また、DIC川村記念美術館については、これまでの運営方針に変更はなく、今後も鋭意運営を継続致します。ルノワールらフランス印象派、ピカソやシャガールなどの西洋近代絵画に留まらず、尾形光琳や長谷川等伯らの日本美術に至るまで、これまで好評を博した幅広いラインアップで引き続き来館者をお迎え致します。

2. 譲渡資産の内容

(1) 資産の内容

バーネット・ニューマン作「アンナの光」

(2) 譲渡益（特別利益として計上）

103億円

（その他の関連当事者への手数料を控除した後の譲渡益です。）

3. 譲渡の相手先の概況

(1) 名称および概況

機密保持契約により、譲渡先となる海外の企業名の公表は差し控えさせていただきますが、当社では同企業のこれまでの業界内における取引実績に加え、同企業への面談や第三者による検証に基づき、同企業が反社会的な活動や勢力とは無縁の健全な事業活動を行っており、取引後も同作品が適切に維持・管理されると判断しました。

(2) 上場会社と譲渡の相手先との関係

当社ならびに当社の関係者および関係会社と、譲渡の相手先となる企業、ならびに同企業の関係者との間には、記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。

また、同企業ならびに同企業の関係者は、当社の関連当事者には該当しません。

4. その他の関連当事者

当社ならびに当社の関係者および関係会社と、その他の関連当事者および同関連当事者の関係者との間には、記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。

また、同関連当事者ならびに同関連当事者の関係者は、当社の関連当事者には該当しません。

5. 今後の見通し

(1) 今回の取引が業績に与える影響

当取引が業績に与える影響を反映し、以下のとおり当期連結業績予想を変更致します。

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	710,000	39,000	35,000	18,000	19.65
今回修正予想(B)	710,000	39,000	35,000	24,400	26.64
増減額(B-A)	0	0	0	6,400	-
増減率(%)	0%	0%	0%	35.6%	-
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	703,781	38,484	35,137	19,064	20.80

(注) 当社では、平成25年6月20日開催の定時株主総会において、当社ならびに国内子会社の決算期の変更が決議され、従来の3月末決算から12月末決算に変更されました。なお、適用初年度となる平成25年12月期については、当社ならびに国内子会社は4月～12月の9ヶ月、海外子会社は従来どおり1～12月の12ヶ月が連結決算対象期間となります。

(2) 譲渡資金の用途について

有利子負債の返済などによる財務体質の健全化、ならびに今後の持続的成長のための合理化や成長分野への投資に活用致します。

また、当社ではColor（彩り）とComfort（快適）に関わる企業として、色彩豊かで芸術性に富む文化遺産を世に広く伝えることを企業使命のひとつとし、DIC川村記念美術館を運営してまいりましたが、この運営方針は今後も継続することと致したく、譲渡資金の一部を活用することも検討致します。

6. その他補足事項について

(1) DIC株式会社について

1908年創業。本社は東京都千代田区。印刷インキや有機顔料、エンジニアリング・プラスチックのPPSなどで世界シェアトップを有するファイン・ケミカル・メーカー。60を超える世界の国と地域で180を超えるグループ会社を通じて事業を展開している。2013年3月期の決算（連結）では、売上高7,038億円、営業利益385億円、純利益191億円、総資産6,930億円、従業員20,273人。

(2) DIC川村記念美術館について

1990年5月開館。所在地は千葉県佐倉市。DIC株式会社が運営する同美術館は、17世紀のレンブラント、19世紀のルノワールらフランス印象派を経てピカソやシャガールに至る西洋近代絵画、マーク・ロスコやステラなどの現代美術に加え、尾形光琳や長谷川等伯らの日本美術まで、幅広いコレクションを有する。今後も引き続き、このような幅広いラインナップで来館者をお迎え致します。

(3) バーネット・ニューマンとアンナの光について

バーネット・ニューマン（アメリカ、1905～1970）は現代抽象表現主義の代表的作家。ニューマンの母の名にちなんで名付けられた「アンナの光」は1968年に制作され、ニューマンが制作した絵画の中で最大のサイズを誇ります。（276.0 x 611.0cm）



DIC川村記念美術館の「ニューマン・ルーム」

© 2013 Barnett Newman Foundation/ARS, New York/JASPAR, Tokyo
B0341



バーネット・ニューマン 《アンナの光》 1968年

© 2013 Barnett Newman Foundation/ARS, New York/JASPAR, Tokyo
B0341

マスコミの方々の報道目的を含め、上記の画像をご利用される場合は、著作権者の許諾をお受けになられた上でご利用下さい。

以上